

「東電に原発を動かす資格があるのか」が改めて問われます テロ対策不備の原因と再発防止策をまとめた東電の報告書

福島原発事故を起こした当事者としての
反省と責任が感じられない報告書

10年前にあれほどの過酷事故を起こしておきながら、一連の柏崎刈羽原発の不祥事の原因をいまだに「核物質防護のリスク認識の弱さ」「組織としては是正する力の弱さ」などと述べ、通り一遍の改善策を並べています。そして、福島事故の反省を生かすなら、柏崎刈羽原発の保守管理は強化すべきところ、逆に「：原発事故後の経営状況を踏まえて設備更新せず、他原発よりも設備の使用期間が長くなった」などと述べています。東電はコスト削減が不備の背景となった可能性を再三否定しましたが、設備の故障や代替措置の不十分さは、安全よりもコストを優先させた結果であることは否めないのではないのでしょうか。

さらに、報告書を出す直前の9月6日、ケーブル火災が発生し柏崎消防本部が出動するという事態になりました。また、9月22日までに火災感知器100台の不適切配置、安全対策工事も完了94カ所の追加発表など、問題が噴出し続けています。

柏崎刈羽原発の是非を問う二つの署名を
引き続き継続して取り組みましょう

署名参加市民団体はオンラインを含めて80人が参加して9月4日に集会を開き、当初9月末で集約して提出する予定でしたが、来年3月まで延長し継続して取り組むことを決めました。柏崎刈羽原発で不祥事が相次いで発覚し、再稼働に向けた作業が事実上凍結となったためです。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で活動に制約がありますが、引き続き署名の輪を広げ柏崎刈羽原発再稼働NO！を圧倒的世論にしていきたいと思います。

野党4党と市民連合が共通政策に合意しました！

再生可能エネルギーの拡充で、原発のない脱炭素社会を追

選挙で変えよう、原発ゼロの日本へ

総選挙が近づいてきました。これまでの安倍・菅政権は、石炭火力の新增設を続け、原発再稼働・新增設が前提のエネルギー政策を推進してきました。自民党の総裁選立候補者全員が原発再稼働を容認しています。市民と野党の共同をさらに大きく発展させ柏崎刈羽原発の再稼働をストップさせる選挙にしましょう。



原発ゼロ長岡市民ネット結成10周年

原発再稼働を考える市民のつどい

福島原発問題のリーダーとして、被災者に寄り添い先頭に立って活動している

伊東達也さんのお話が直接聞けます

11月20日（土）午後2時
会場はNCホールです



*チラシを同封いたしました。
*お誘いあわせてぜひご参加下さい。整理券はお近くの世話人または事務局にお求め下さい。

【1言メモ】東電は福島第1原発でも新たな不祥事。汚染水浄化設備（ALPS）の廃棄フィルターに29カ所の破損とそれによる汚染も確認したと9/21発表。汚染水海洋放出を進める資格があるのでしょうか。

10月のアオーレ前署名・宣伝11日行動は、10/11（月）16時から。ご参加を！

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第115号 2021年9月27日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870
佐藤 090-4925-3707